

# とくのしま

風にたなびく笹飾り  
亀徳で七夕街道復活

2015  
9月号  
No.496

町長就任3期目のごあいさつ

# 夢をかなえる島へ

徳之島町長

高岡 秀規



## 1. 地域の実状を反映した町政の推進

・「都市と異なる産業構造を持つ地方での地域の実状に応じた施策の実現」を目的に取り組んできた「総合食品加工センター及びTMRセンター、水耕栽培ハウスの建設」。これらの施設の稼働を軌道に載せながら、農業、教育、医療と福祉、観光とITの振興による地方創生、世界自然遺産登録への取り組みを力強く進めます。

## 2. 農業振興及び第6次産業化の推進

・島の基幹作物であるサトウキビに関して、管理作業の徹底、土づくりの充実による反収アップを優先的に進め、農家の方々が安心して農業に専念できるよう、関係機関との連携による支援体制構築に務めます。

・町総合食品加工センター「みのり館」では、大手食品メーカー様とのタイアップを進めながら、特産品の販路拡大、並びに商品ラインナップの強化に努めます。

・TMRセンターは、飼料の品質向上、コスト削減による安価な商品提供の実現を図ります。

## 3. 教育向上による個性豊かな人材育成

・かつて数多くの人材輩出した「学士村」の再興を目標に、「学士村塾」「向学塾」を継続実施し、教師の人材確保と教育力の格差は解消に取り組みます。

・ICTを活用した授業の充実により、世界に視野を広げたグローバルな人材育成を目標にします。

・社会教育の面では、各自の個性を尊重し、価値の多様性に対応できる地域社会づくりを目指します。

記録的な豪雨をもたらした台風12号により、町内の井之川から南原にかける南部地域で多くの家屋が浸水被害を受けました。ここに、心よりお見舞い申し上げます。

人的な被害が無かった点については安堵しておりますが、関係機関との連携による被害対策に加え、想定外の災害に対する体制強化に努めることをお誓い申し上げます。

さて、さる7月の町長選挙において町民の皆様方の信任を得、3期目の町政を担当することになりました。これもひとえに、町民各位をはじめ各方面の皆様のおたかいご支援があったからこそであります。ここに改めて感謝申し上げますとともに、多くの町民の皆様方の負託に応え地域振興に取り組むことをお約束いたします。

#### 4. 医療・福祉の充実による暮らしやすい町づくり

- ・ 島内3町と関係機関で作る「徳之島の医療・福祉を考える会」による、医師等の確保に継続的に取り組み、安心して子どもを産み育てられる環境を守ります。
- ・ 都市部から福祉施設利用者を受け入れる態勢づくりを検討します。
- ・ 雇用弱者である障がい者の労働環境が、全て島内において完結できる地域を指します。

#### 5. 観光客受け入れ体制の充実

- ・ 島内の自然保護、環境保全と観光産業の両立を目指すエコツーリズムの推進に取り組みます。

#### 6. 地方創生の実現

- ・ 企業誘致の面ではIT関連企業との交渉を進めるとともに、若者がチャレンジ精神を発揮できる環境を整備し、起業家人材の育成を進めます。

#### 7. 世界自然遺産登録を見据えた地域連携の強化

- ・ 外来種対策と希少種の保護・保全、地域の機運醸成に対しては、着々と進めながら確実に課題解消に取り組みます。

#### 8. むすびに

私は3期目のスローガンを「夢かなえる島」としました。これまでの2期8年間、取り組んで来た各種施策を力強く進め、農業、教育、医療と福祉、観光とITの振興による地方創生、世界自然遺産登録への取り組みを力強く進めることは、将来を展望した上で町発展につながるものと信じており、歩みを止めることなく、実現に向けて邁進して行かねばなりません。これまでの施政方針でも申し上げたように、私自身も「隗より始めよ」の精神で取り組む所存です。

住民が個性を発揮し、心から豊かさを実感できる町の実現に向けて、議会の皆様、町民の皆様方のご指導ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます、第16代徳之島町長就任の所信表明と致します。

### 地元の機運醸成を目指して

町では、「奄美・琉球」の世界自然遺産登録を目指して地域住民と行政が一体となって推進し、遺産価値の活用と保存を図るため、徳之島町世界遺産登録推進協議会を設置しました。

### 徳之島町世界自然遺産登録

#### 推進協議会について

##### ■設置目的

世界自然遺産登録に向けた各種調査の実施並びに機運の醸成について、総合的な視点から協議し、世界自然遺産登録事業の推進を図る。

##### ■役割

- ・世界自然遺産登録に向けた各分野の取組状況に関すること
- ・その他、町民の遺産の保存・保護・活用に向けた取組みに関すること

##### ■推進協議会の拡充と部会の設置

世界自然遺産登録を推進するため、行政や地域・民間の団体の方に加わっていただく。また、次の部会を設置する。

- ・情報発信部会：町内の機運醸成及び町内外への情報発信
- ・調査研究部会：調査研究の実施、提案書の作成
- ・保存管理活用部会：包括的な保存管理計画の策定
- ・保全活動の実施

### 平成27年度第1回会合（平成27年7月29日開催）について

町は、世界自然遺産登録に向けて住民と行政が一体となった組織として徳之島町世界自然遺産登録推進協議会を設立し、第1回会合を7月29日に町役場会議室で開きました。委員は、町の関係課職員と各種団体などの代表、町公式ウェブサイトを通じた募集に応じた公募委員も含め20名で構成。行政と住民が一体となり、世界自然遺産登録へ向けた課題などを協議しました。

議事に先立ち同協議会長の高岡秀規町長は「国立公園指定、世界自然遺産登録に向けて一歩一歩進んでいるが、今後我々が具体的に何をしなければいけないか、

地域に浸透させることが一番大きな課題となっており、忌憚のないご意見を出して頂きたい」とあいさつ。事務局が、世界自然遺産登録に対する現在の状況について説明しました。

引き続き、各課における環境保全や自然保護、啓発活動の取り組み状況と課題などについて担当者が報告。委員からは、「環境問題は一番の課題であり、環境整備に対する標語のようなものをまとめて取り組めば、意識も変わるのではないか」「島内3町と県の動きが連携し、情報の共有と提供をしてほしい」などの提案や要望がありました。

町では、今回の協議会の内容を踏まえ、各課及び各種団体との連携を強化し、各課題に優先順位を付けて取り組んで参ります。



## 講演会のお知らせ

徳之島地区自然保護協議会では、元環境省の自然環境局長で現在は鹿児島大学特任教授である星野一昭先生をお招きし、世界自然遺産登録に向けた講演会を開催します。

長年、世界自然遺産の地域に携わってきた豊かな経験をもとに「奄美・琉球」の世界自然遺産登録に向けて、地域社会が果たす役割などについてご講演いただきます。

ぜひこの機会に、世界自然遺産への興味・関心を深めていただければと存じます。



**世界自然遺産登録の意義と地域社会の役割**  
～各地の経験からわかったこと～

平成27年9月6日(日)  
午後2時から4時  
伊仙町ほーらい館癒ていなホール

元 環境省自然環境局長  
鹿児島大学特任教授 星野一昭 (ほしのかずあき)

平成9年から3年間は鹿児島県の自然保護担当課長として世界自然遺産となった屋久島の山岳地域の保全や世界自然遺産に関するアジアサミットの開催を担当。知床が世界自然遺産に登録される前後2年間は釧路自然環境事務所長として漁民など地元住民との調整責任者の役割を果たした。

本省野生生物課長としてトキの野生復帰など希少野生生物の保護を担当した後、小笠原諸島の世界自然遺産登録には環境省担当課長として関わった。奄美琉球地域の世界自然遺産登録を目指す環境省の実務責任者である自然環境局長を最後に平成26年7月に退職。

本年4月から鹿児島環境学を担当する特任教授として鹿児島大学で勤務。

奄美・琉球を世界自然遺産へ！

## 〔星野一昭特任教授のプロフィール〕

平成9年から3年間は、鹿児島県の自然保護担当課長として、世界自然遺産となった屋久島の山岳地域の保全や世界自然遺産に関するアジアサミットの開催を担当。知床が世界自然遺産に登録される前後2年間は、釧路自然環境事務所長として、漁民など地元住民との調整責任者の役割を果たしました。

本省野生生物課長として、トキの野生復帰など希少野生生物の保護を担当した後、小笠原諸島の世界自然遺産登録には、環境省担当課長として関わりました。

奄美琉球地域の世界自然遺産登録を目指す環境省の実務責任者である自然環境局長を最後に、平成26年7月に退職。本年4月から、鹿児島環境学を担当する特任教授として鹿児島大学で勤務されています。

※「町内史跡巡り」は、紙面の都合で休載しました。

〔お問い合わせ先〕

徳之島町役場企画課 ☎ 82-1111 (内線222)

担当：遠藤

# 第34回 どんどん祭り



徳之島町の「第34回どんどん祭り」（同実行委員会主催）が8月8日と9日の2日間開催されました。

8月8日は二年ぶりのパレードやちびっこ相撲、ゲートボールが行われ、各会場には沢山の人が集まりました。亀徳新港で開催された郷土芸能では、「民謡・民舞」をテーマに、中区田植え踊り保存会の田植え踊りや島唄、空手の演武などが披露されました。

8月9日の芸能大会は、高校生バンド「プロックリン」の演奏で開幕。島内のバンドグループの演奏やダンス、歌謡ショーなど身近な出演者に観客が声援を送りました。奄美市笠利町出身の2人組音楽ユニット「カサリンチュ」の登場に会場の盛り上がりは最高潮に達し、大勢の人が合いの手や手拍子を取り、会場全体で祭りを盛り上げました。

（後日開催の花火大会やハーレー舟、ビーチバレー大会は10月号で掲載します）







## 住民総出で稲刈り

手々集落で稲刈り



町内の手々集落で7月20日、住民総出の稲刈り作業が行われました。4月19日に昔ながらのユイワク（共同作業）による「田植え祭り」で植えた苗の収穫に、爽やかな汗を流しました。

水田は約8アールで、もち米の苗を育てました。昨年は、20kg入りの袋で5袋以上あったものの、今年は網目の大きい防鳥ネットしか確保できなかつたため、予想以上のスズメ被害に見舞われました。

全員で集めた稲は一斉に脱穀され、乾燥後にもみ殻を取り、餅をついてムチタボリなどの集落行事で配布されます。

## 新記録を多数樹立

町小学校水泳記録会



町総合運動公園内レジャープールで7月22日、町小学校水泳記録会が行われました。各学校の4年生から6年生の児童が新たな記録作りに挑みました。

選手たちは名前を呼ばれると挙手しプールに入水。スタートのピストル音で一斉に泳ぎだし、力強く進みました。プールのサイドの児童や観客席からの声援を受け、記録更新を目指して競技に挑戦しました。

今年は、例年より多く13個の新記録が樹立されました。新記録達成の放送が読み上げられる度に、会場には大きな歓声が沸き上がりました。

## 家族一緒に夏の海で遊ぼう！

海のアドベンチャー「親子釣り大会」



山漁港で8月2日、海のアドベンチャー「親子釣り大会」が開催されました。48名の親子連れが参加し、晴天の下、釣りを楽しみました。

参加者は思い思いの場所で、家族やグループごとに磯釣りをしました。初体験の参加者は、餌のつけ方や打ち込みなどの方法を教わり、魚釣りに挑戦。カンモンハタやアジ、アオスジエビスなどの魚が釣りあげられると、歓声が上がりました。釣り大会後は、海の清掃を行い、バーベキューで交流しました。

釣果は少なかつたものの、参加者は家族や仲間と自然に触れ合い、楽しい時間を過ごしたようでした。

## 4期連続の不作を覆す豊作を

サトウキビ夏植え推進出発式



8月3日、徳之島町役場前でサトウキビ夏植え推進出発式が開かれました。

サトウキビ生産農家や関係団体などから約80人が参加し、4期連続の不作を覆す豊作を目指そうと氣勢を上げました。目標栽培面積は180ヘクタール、今期生産量は5・8万トンを見込んでいます。

南西糖業徳之島事業本部の岩淵達夫本部長は「昔ながらの土づくり、早期栽培、定期的な管理が自然災害を軽減にし、サトウキビの成長を促す」と呼びかけ、町職員の掛け声で「頑張ろう」を三唱し、目標達成を誓いました。





## 七夕の季節を楽しむ

町立図書館「七夕まつり」



町立図書館主催の「七夕まつり」が8月6日、図書館ロビーで開催されました。親子連れなど約70名が参加し、絵本などの読み聞かせと七夕飾り作りを楽しみました。

おはなし会で子ども達は、七夕にちなんだ大型絵本やエプロンシアターの読み聞かせを静かに聞き聞いていました。

おはなし会後は、図書館の用意した笹やおり紙などを使って七夕飾りを作りました。完成した七夕飾りが美しく風になびく様子を見て、子ども達には笑顔が広がりました。

## 若者が担う観光地域づくり

島っ子ガイド学習会



町生涯学習センター研修室で8月6日、「しまっ子ガイド学習会」が開催されました。長崎県立大学経済学部経済学科の西村千尋教授が「若年層を中心にした観光地域づくりの可能性」について講義しました。

西村教授は若年層を対象としたひとづくりの事例として、三重県鳥羽市菅島の「しまっ子ガイド」を紹介。小学校の教育課程に組み込まれたガイド実行までの過程から、観光地域づくりを教材とした学校教育の可能性について説明しました。奄美出身の西村教授は、「他の島々とは違う魅力を活かし、徳之島独自の観光地域を築いてほしい」と話しました。

## 島外の視点から島の利点を見出す

武蔵野大学「徳之島プロジェクト」開村式



8月7日、東区公民館で武蔵野大学（東京都江東区）インターンシップ「徳之島プロジェクト」の開村式が行われました。

同プロジェクトは、農業実習や就業体験などを通し徳之島の農業や自然文化などを学び、観光ガイドブックの制作などにより島の情報発信することが目的。63名の学生が各班に分かれて1週間程度滞在し、果樹や畜産などの農業体験、町役場や観光連盟での就業体験、世界自然遺産に向けたガイドブック作成などのプログラムに取り組みます。

## 医療の在り方を再考する

総合診療講演会



町文化会館で8月10日、「ひとりでも多くの人を救うにはー総合診療と地域医療のあり方」が開催されました。オーストラリアの総合診療医3名が「総合診療」について講演。島内から医療従事者や行政機関関係者、住民など約500名が傍聴し、へき地医療の在り方について知識を深めました。

専門分野の壁を越え様々な病気を包括的に診療する「総合診療」の取り組みについて、オーストラリアの現役総合診療医3名がそれぞれの経験や考えを講話。同診療体制が遠隔地での地域医療や災害医療などで活躍している様子を紹介しました。



## きれいな海を守り続けよう！

亀津保育園学童保育「海のボランティア清掃」



畦プリンスビーチで7月19日、亀津学童保育にこにこキッズの学童クラブと保護者によるボランティア清掃が実施されました。

小雨の中、砂浜に打ち上げられたゴミを全員で協力して拾いました。

自らの手でごみを集めることで、きれいな海を守るために自分たちができることは何かを考えるきっかけとなった様です。また、ヤドカリやカニなどの生き物を観察し、命の大切さについても学ぶ機会にもなりました。「これからも、きれいな海を守り続けたい」など親子で様々な感想が聞かれました。

## 地域包括ケアシステム構築へ

第1回在宅医療介護連携検討会



徳之島町社会福祉協議会にて7月22日、島内3町の医療介護の関係者約50名が参加し、第1回在宅医療介護連携検討会が開催されました。

宮上病院の宮上寛之院長による「医療と介護の連携く地域包括ケアシステムの構築に向けて」と題した講話の後、6グループに分かれて島の現状や課題、今後の取組について話し合いました。

検討会では、「在宅では、本人らしい暮らしを中心にしたケアを行うことができるなど、良い面がある」「島でも訪問看護や介護の連携で最後まで暮らすことは可能。地域の方々にもっと周知していくことが必要」などの意見が出されました。

## 現役鹿大生からの指導に期待

向学塾中学生の部開校式



町学習センターで8月17日、「夏休み向学塾中学生の部開講式」が行われました。今年度で6年目を迎える向学塾は、町内の中学生27名が受講しました。

今年から新たな取り組みとして、11名の鹿児島大学の学生を講師として招へいし、8月17日から8月29日までの日曜日を除く午後2時から午後5時まで、花徳教室（花徳生活館）・亀津教室（町学習センター）の二教室で実施しました。

小学生の部でも、夏休みの22日間、教員免許を持った町内の講師が指導。夏休み期間を利用した学習で、学力向上が期待されます。

## 堂々とした風格で飛行

コウノトリを確認



8月10日、徳之島町と天城町の町の畑で、コウノトリが確認されました。

同日、町内の住民の方から「変わったツルがいる」との連絡を受け、轟木と天下茶屋付近の畑で大型の鳥を発見。体毛色や眼周りの赤色などの特徴からコウノトリと確認されました。

確認された個体は、天城町を住み家とするコウノトリ。体が大きく沢山のエサが必要のため、天城町を拠点に広範囲で狩猟活動している様です。畑や牧草地での観察時には、時折くちばしで草むらをつつき、虫などを捕食していました。

## イベント

9/15  
～  
10/14  
までの  
行事予定

■ 9月16日

年金相談

(南区公民館) 13時～

■ 9月17日

年金相談

(花徳支所) 9時30分～

■ 9月19日

高齢者スポーツ大会

(亀津児童公園)

■ 9月20日

運動会及び体育祭

(神之嶺小井之川中合同、  
尾母小中、手々小中)

■ 9月26日

尾母 コアキムチ

■ 9月27日

運動会

(亀徳小、花徳小、  
母間小、亀津小)

■ 9月27日～28日

下久志「十五夜」

■ 10月11日

町民体育祭

(総合運動公園)

■ 10月14日

小学校陸上記録会

(総合運動公園)

※日程等は変更する場合があります。詳しくは、各関係機関にご確認ください。

## 相談

### 行政相談委員に相談してみませんか？ 行政相談委員についてのご案内

総務大臣委嘱の行政相談委員は、皆様の相談相手として、役所のサービスや行政の仕組み、手続きに関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関に対する改善の申し入れを行っています。

自宅や電話でも相談に応じています。なお、相談は無料で秘密は守られます。

総務省委嘱 行政相談委員

携帯電話

東郷 勇 氏

090-9791-9194

徳之島町亀徳2717-1



## 環境

### ネコの里親を募集しています！

アマミノクロウサギをはじめとした貴重な生き物達の生息地として、世界自然遺産の候補地に選ばれています。しかし、野生化したネコ『ノネコ』がアマミノクロウサギやケナガネズミ、トクノシマトゲネズミなどをおそう被害が頻発しています。

希少な野生動物を守るため、本来、山には生息していなかったはずのネコを捕まえて飼育し、人に馴れさせた上で譲渡する取組みが始まっています。

ネコの里親になってくださる方を募集中です！

【飼い主さんの条件】

- ネコが天寿を全うするまで責任持つて飼ってくださる方
- 必ず室内で飼ってくださる方
- お渡しするネコは全て避妊・去勢手術済み、3種混合ワクチン接種済みです。

※徳之島3町飼い猫条例により、役場での飼い猫登録が義務づけられています。

## 住宅

### 入居者募集のお知らせ

亀津カトリック幼稚園隣「ゆうな住宅」

- 住宅名 ゆうな住宅
- 所在地 徳之島町亀津3092番6(亀津カトリック幼稚園隣)

■ 募集期間

平成27年9月1日～15日

■ 選考方法 抽選

■ 入居開始日

平成27年10月1日

■ 家賃 60,000円

■ 敷金 家賃の3ヶ月分

■ 間取り 3LDK

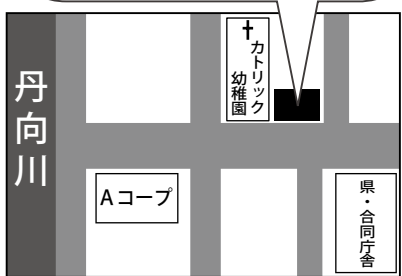
■ 戸数 3戸のうち1戸(3階)

◎入居者の条件

1. 教職員又は町内に住所を有する者及び町内に住所を移そうとする者
2. 家賃が滞りなく納付できる見込みの者
3. 連帯保証人2人のうち、1人は入居者と同じ、以上の収入のあるもので、かつ町内に住所を有する者
4. 地方税等の各種税金、使用料等の滞納のない者



旧法務局第二職員宿舎です



問 町総務課

☎ 82-1111

(内線214)

くらし

マイナンバーについてのお知らせ

平成27年10月5日から個人番号が通知されます

平成27年10月5日から、徳之島町に住民票を有する人に『通知カード』を送付し、12ケタの個人番号（マイナンバー）をお知らせします。



●通知カード・・・10月5日から

『通知カード』は、紙製のカードで、券面に氏名、住所、生年月日、性別、個人番号（マイナンバー）、通称名（外国人で通称登録されている人）などが記載されています。顔写真は入っていません。

この通知カードは住民票の住所に、転送不要の簡易書留で送られます。住民票の住所と異なるところにお住まいの人は、届かない場合がありますので、住所の異動届をお願いします。

また、個人番号カードの交付を受けるまでの間、行政機関の窓口等で個人番号の提供を求められた際に利用可能ですので、くれぐれも無くさないようにご注意ください。

●個人番号カード

個人番号カードは、通知カードとともに送付される申請書を郵送するなどして、平成28年1月以降、交付を受けることができます。

『個人番号（マイナンバー）カード』は、本人確認のための身分証明書として利用できるほか、カードのICチップに搭載された電子証明書の機能を利用して公的個人認証サービスによるe-Taxなどの電子申請ができます。

- 個人番号（マイナンバー）カードは、申請した人にも交付します。
- 平成27年10月から申請がはじまり、平成28年1月から順次交付します。
- 通知カードと一緒に、個人番号カードの交付申請書が送付されます。
- 初回の発行手数料は無料です（再発行をする場合は有料になります）。

※やむを得ない理由により住民票の住所地で受け取ることができない方は「居居情報登録申請書」を住民票のある住所地の市区町村に持参又は郵送してください。・・・8月24日～9月25日

【申請が必要な方】

- 東日本大震災による被災者で住所地以外の居所に避難されている方
- DV、ストーカー行為、児童虐待等の被害者で住所地以外の居所に移動されている方
- ひとり暮らしで、長期間、医療機関・施設に入院・入所されている方

【国のマイナンバーコールセンター】

（全国共通ナビダイヤル）

ご質問は、下記のマイナンバーコールセンターまでお電話ください。

☎（日本語窓口）0570-20-0178

☎（外国語窓口）05701-20-0291

平日の午前9時30分～午後5時30分（土・日・祝日、年末年始を除く）

※通話料がかかります。

※IP電話等で上記ダイヤルにつながらない場合は、☎050-3816

—9405まで。

マイナンバー制度等についての詳細、最新情報などについては国（内閣府）の「社会保障・税番号制度」のホームページをご覧ください。

（内閣府）「マイナンバー社会保障・税番号制度」

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

詳しくは、広報と一緒に配布している別紙『よく分かる！マイナンバー制度』をご覧ください。

問 町総務課

☎82-1111

（内線214）

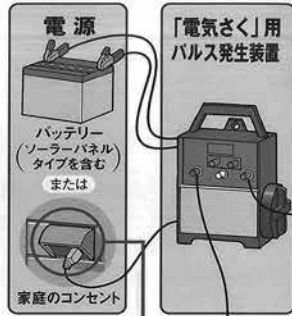


## 「電気さく」とは？

- 田畑や牧場などで、高圧の電流による電気刺激によって、野獣の侵入や家畜の脱出を防止する「さく」のことです。
- 「電気さく」は、人に対する危険防止のために、電気事業法によって施設方法が定められています。



## 「電気さく」施設上の注意



**！ 漏電遮断器の設置**  
「電気さく」を公道沿いなどの人が容易に立ち入る場所に設置する場合で、30ボルト以上の電源（家庭のコンセントなど）から電気を供給するときは、危険防止のために漏電遮断器を設置する必要があります。

**！ 電波発生による障害の防止**  
「電気さく」から発生する電波が、テレビやラジオなどの無線設備に継続的かつ重大な障害を生じさせないように施設する必要があります。



**！ 危険表示**  
人が見やすいように、適当な位置や間隔で危険表示をする必要があります。

安全

そばに寄らないで！感電注意！！  
**電気柵での事故に注意！**

電気柵による感電死亡事故が発生しました。町内各所にも農作物の被害防止や家畜の脱出を防止するため電気柵が設置されています。電気柵の付近を通行する際には、線に触れないように十分ご注意ください。またお子さまが線に触れないように大人の方々には目配りをしていただきますよう、お願いいたします。

電気柵を設置する場合、または設置している農業者の皆様は漏電対策を行い、周囲の人が容易に確認できる位置や間隔、見やすい文字で看板等の危険表示を行い、適切に管理していただきますよう、お願いいたします。

問 町農林水産課  
☎ 82-11111  
(内線242)

納税

确实！便利！  
**納税は口座振替（自動払込）を！**

納税は便利で确实な口座振替（自動払込）をお勧めします！

「口座振替」は皆さんが指定した預貯金の口座から、町税を自動的に振り替えて納付するものです。日頃忙しく時間の取れない人や、納付場所まで行くのに困難な人にはとても便利なシステムです。

ゆうちょ銀行引き落としの場合25日、その他銀行引き落としの場合28日となっています。

## 〈今年度の引落日〉

2月	1月	12月	10月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険税5期</li> <li>・固定資産税4期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町県民税4期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険税4期</li> <li>・固定資産税3期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町県民税3期</li> <li>・国民健康保険税3期</li> </ul>

問 町収納対策課

☎ 82-11111 (内線172)

# 健康トピックス

## 各種検診のお知らせ

**\*長寿健診**（主に75歳以上の方を対象）

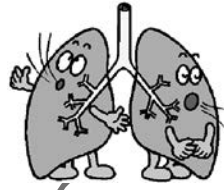
10月3日（土）～10月6日（火）

（※40～74歳の国民健康保険加入者で、7月に特定健診を受診できなかった方も、受診できます）



**\*肺がん検診**（40歳以上の方を対象）

10月5日（月）～10月8日（木）



**\*結核検診**（65歳以上の方が対象）

10月9日（金）、10月13日（火）

10月16日（金）、10月19日（月）

10月21日（水）



（※65歳以上の方は、肺がん検診か結核検診のどちらかを受診してくださいとなります）

実施会場など、詳細は決まり次第、集落放送等でご案内いたします。受診を希望される方は、保健センターまでお申込みください。



結核、肺がんともに胸（呼吸器）の病気ですが、どちらもここ数年、患者数が増加傾向です。あてはまる症状がないか、確認してみましょう。

**\*結核**：長く（2週間以上）続く咳、微熱や倦怠感、血痰など

**\*肺がん**：咳、痰（血が混じった痰）、息切れ、嚔声（声がかれる）など

上記の症状がなくても、病気にかかっている場合もあります。早期発見のため、年に一度は必ず検診を受けましょう！



### 9月の歯科相談日・母子手帳交付日

9月17日（木）：保健センターにて

母子手帳交付受付時間：13：30～

歯科相談受付時間：14：00～14：30

歯科相談対象：妊婦さん・幼児・一般の方、  
3か月以上歯科健診・フッ化物を受けていないお子さん



### ●○マタニティクラスのご案内●○

- ・妊娠中の心と身体の付き合い方
- ・赤ちゃんの栄養と食事
- ・赤ちゃんの虫歯予防はお母さんから



日時：9月14日（月） 10：00～11：30

場所：徳之島町保健センター

\*母子手帳をご持参ください。

徳之島町保健センター TEL：83-3121



## わきや 花徳小学校

### わきや校章



### わきや花徳小校歌

昭和 36 年制定

作詞：文田三部郎

補作詞：大山利和

作曲：外山雄三

- 1 陽は照る 瑠璃の空の下  
永遠に緑の 南島の  
その名もゆかし 花徳校  
おおなつかしき わが母校
- 2 学びの友の 五百余が  
朝にゆうべに きたえみがく  
香りもたかし 花徳校  
おおほこらしき わが母校
- 3 学びをおさめて 世に出でん  
励む力を 奮いたたす  
心のふるさと 花徳校  
おおうるわしき わが母校

- 明るく、みんなで協力する学校にしたいです。  
すきな校歌の歌詞…心のふるさと花徳校  
6年 中島 拓人
- 最後までがんばる花徳小にしたいです。  
すきな校歌の歌詞…励む力を奮いたたす  
6年 福留 光正
- 明るく最後までやりぬく学校にしたいです。  
すきな校歌の歌詞…永遠に緑の南島の  
5年 吉村 凜愛
- 最後までみんなで協力する学校にしたいです。  
すきな校歌の歌詞…陽は照る瑠璃の空の下  
4年 尚 幹太

- 02 町長 3 期目就任のあいさつ
- 04 世界自然遺産への歩み
- 06 どんどんまつり写真特集
- 08 町の話
- 11 町からのお知らせ
- 14 健康トピックス
- 15 学校紹介（花徳小学校）／  
題字紹介／目次
- 16 戸籍の窓・成人式案内

### 表紙写真



亀徳集落が、亀徳郵便局前の港沿いを七夕飾りで飾り付けしました。青空にたなびく笹飾りは、しゃらしゃらと軽やかな音をたて、夏空を彩りました。

### 今月のとくのしま



#### 市来崎 いずみさん

(亀津中学校 2 年生)

小学校 1 年生から続けている習字。中学生になり部活との両立が難しい中でも、コツコツと練習を重ねています。「満足いく字に仕上がることを楽しみに、これからも長く続けていきたい」と話しました。

楽しい学校生活を満喫しているいずみさん。5 月の修学旅行で、仲良しな友達とグリーンランドで過ごした時間が、一番楽しかった思い出です。



記念碑の前で  
編集委員の皆さん（花徳小総務委員会）

## 成人を迎えられる皆さんへ ～広報誌への協力をお願い～

広報とくのしまでは「平成28年成人式」を迎えられる方の子どもの頃の写真を募集しています。写真は、「広報とくのしま平成28年2月号」の成人式特集で使用します。皆さんの成人の思い出をより良いものにするため、写真提供に是非ご協力ください！

成人対象者全員の写真で広報紙面を作成することを目指しています。同級生やお友達に声をかけてもらい、できるだけ多くの方のご協力をお願いいたします。

◇お問い合わせ先◇

徳之島町役場企画課

☎ 0997-82-1111 (内線 222)

F A X = 0997-82-1101

kikaku2@tokunoshima-town.org

# お知らせ

平成28年  
徳之島町成人式は、  
日程を1月5日から

# 1月2日

に変更いたします。

## 成人式



徳之島町教育委員会社会教育課

T E L: 0997-82-2904

F A X: 0997-82-2905

E-mail: tokusya@tokunoshima-town.org

## 戸籍の窓

### ◆ご結婚おめでとう

松山 尚也 亀津  
松田 アンリス 亀津

亀山 守平 伊仙町  
阪江 美咲 亀津

### ◆こんにちは赤ちゃん

出生児 保護者 住所

貞 憲樹 優織樹 亀津

森島りのほ 輝彦 亀津

柚木 結真 真成 亀津

宮本 陽明 俊希 徳和瀬

吉村 陽翔 和彦 母間

西元 哲心 修一 亀津



◆謹んで「冥福を  
お祈り申し上げます



### 徳之島町の現勢

面積	104.92 km <sup>2</sup>
人口	11,385人
男	5,583人
女	5,802人
世帯数	5,185戸
平成27年8月1日現在	

※7月届出分のうち、広報紙に掲載の方のみ掲載しています。

氏名	年齢	住所
平田 タフ	94	亀津
宮山 宜男	72	下久志
豊 マツ	94	亀津
松山 エイ	77	亀津
安 源市	70	尾母
柳田 トミ	80	亀津
中島 秀雄	85	山